

平成 17 年度 大学院入学者選抜試験問題 (第 2 次)

専門科目

経済政策・経済史・経営各論・会計分野

以下の問 1～問 4 の中から 1 問を選んで解答しなさい。

問 1 (経済政策) 今日、デジタル技術の進展は著しい。こうしたデジタル技術の革新は、私たちの社会にいかなるインパクトをもたらすであろうか。そして、さらなる技術革新を呼び起こすために、どのような政策が求められるか。

問 2 (経済史) アジア経済成長の特徴を説明せよ。(東アジア NICs と ASEAN の違いを念頭において書けばもっといい答案になるだろう。)

問 3 (経営各論) 以下の (1)、(2)、(3) のいずれか一題を選び、解答せよ。

- (1) 今日の企業をとりまく環境状況を踏まえて、望ましい企業の条件にはどのようなものがあるか。その場合、たとえば望ましき企業を狭義の優良企業とより広義にとらえた「よい会社(企業)」に分けてとらえるのも一つのアプローチである。ただし、回答は必ずしもこの二つの分け方にこだわる必要はない。回答者が考えるところでもっとも適切と思う角度から、今日的に見た「よい会社(望ましき企業)」の条件となることについて説明すればよい。
- (2) 今新しく事業を始めるとする。その場合、考慮すべきこと、検討すべきことにはどのようなことがあると思うか、説明せよ。
- (3) 今日の企業は環境状況への適合が何より大事といわれる。しかし、これは具体的にどのようなことか。自らが適切と考える例などを用いてなるべく具体的に説明せよ。

問 4 (会計学) 原価主義、時価主義、低価主義を比較論評しなさい。できれば最近の日本の制度会計における時価主義導入の動向にも触れること。